様式１　　「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	高山市	学校名	高山市立朝日小学校			
校長名	川邊 眞紀子	対象学年	全学年	人数	８１名	
活動名	ふるさと学習		時間数	３５～７０時間	継続年数	６年
題　材	①自然環境（山野・河川・動物・植物・その他）［高根：山野草、朝日：七本サワラ］ ②歴史（出来事・史跡・先人・その他）［野麦峠を越えた女工、日和田：石仏］ ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他）［秋神：天狗まつり］ ④ 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） ［秋神：わらび粉、すずらん大根、日和田：タカネコーン］ ⑤ 絆を深め、よりよいふるさとをつくる活動　［看板作り、地域の方との語らい］ ⑥ その他（　　）　［　］					
複数年継続するための工夫改善	○どの学年も地域の講師の方にお話を聞いたり、一緒に活動したりさせてもらう中で、地域の方の生き方にふれその素晴らしさを知るとともに、自分たちの生き方を振り返る態度を育てている。また、「学習発表会」では保護者や地域の方に学んだことを発表し、感謝の気持ちを伝えるとともに地域の特色を広く知っていただくようにし					

１ ねらい

◎地域の自然資源・伝統文化資源・歴史資源・人的資源・地域の諸行事を通して、郷土を愛する心と自分の生き方を考える心の育成を図る。

２ 活動の概要

〔第１・２学年〕

・郷土の自然を楽しみ，郷土を大切にする気持ちを養うために、学校近隣の朝日地区の自然、働く人、文化施設などを探索し、出会った人とのコミュニケーションを大切にしながらよさを知る活動を行い、また公園の看板作りを行った。

〔第３学年〕

・高根地区で大切にされている山野草について調べその生態を知るとともに、地域で行われている山野草の花壇づくりに参加し、支所や地域の方の思いを知る中で、多くの人に山野草を大切してもらえるように看板作りをおこなった。

〔第４学年〕

・日和田地区でタカネコーン作りをしている方にお世話いただきながらタカネコーンを育てた。日和田の地域性を生かした栽培方法や生産技術について学ぶとともに、地域で農業を続けている方の生き方から地域を大切にし、生かすことを学んだ。また、日和田地区に残る石仏から日和田の歴史を知るとともに、講師の方の地域をこれからも大切にしていこうとする心を学んだ。

〔第５学年〕

・秋神地区で生産されているすずらん大根から地域性を生かした栽培方法や生産技術について学び、また以前作られていたワラビ粉がどのような時代背景の中で作られていたのかを学び、今でも大切にされていることを知った。また、秋神地区に伝わる天狗まつりについて地域講師から学び、一緒にお供え物を作るとともに、地域へ出かけ祭りに参加することで古くからの伝統を大切にしている地域の人の生き方を知り、その中から自分たちの生き方に結びつけるよさを見つけた。

〔第６学年〕

・修学旅行では京都・奈良に残る飛騨人の足跡を学び、広く日本に貢献していた先人の生き方を学んだ。また、明治時代に校区の野麦峠を越えて信州へ働き出ていた女工たちの生き方や苦労を学ぶ中で、自分たちの生き方を振り返った。

３ 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

・学習発表会では郷土学習の学びを保護者・地域の方に発信し、地域の方から学ばせていただいたどう生きるかについての感謝の気持ちを伝えた。

・全学年とも地域の方に講師となっていただき事象について詳しく教えていただくとともに、その方の生き方から自分たちの生き方に生かせるものを学んでいる。

４ 活動による児童生徒の変容（伸長・成長等）

○自分たちの住む地域をさらによく知ることで地域を大切にしていこうとする心情が育つとともに、中学校に向けて自分たちにできることは何かを考え、行動しようとする意欲が育っている。そのことが中学校での郷土学習に生かされている。